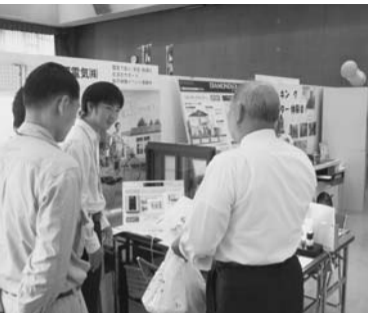


とよなか産業フェア

21日開幕 市中央公民館で

市内企業について、楽しみながら知ってほしい。大阪府豊中市は豊中商工会議所協力のもと、21日10時から中央公民館で「とよなか産業フェア」を開く。市内企業と市民との交流促進が狙いで、今回で3回目。出展者は製造業から飲食店など幅広く、全34ブースを設ける予定だ。前回は約3500人が来場するな



説明に熱心に聞き入る姿も（昨年と同フェア）

地元企業をPR

豊中市は産業フェアで市内企業の知名度アップに貢献すると同時に、市ホームページ（HP）内に「ものづくり企業紹介サイト」を設け、市内企業のPRに一役買っている。

ものづくり企業紹介サイトでは、企業の主力製品や、技術、生産設備などの情報を1枚のシートに簡潔にまとめて紹介。従来は35社分しか掲載していなかったが、11年12

ど、毎年にぎわいをみせている。

市内事業者による展示コーナーでは、市内で事業展開する企業が体験コーナー付きで出展する。今回は塩野義製薬がスパーポール作り体験、北陽電機が顔認証システムのデモンストレーションなどを実施の予定。

「とよなかインキュベーション」ではインキュベーション入居企業が出展するほか、「おおさか地域創造ファンド豊能地域支援事業採択事業者」が展示するコーナーも設け、市内で活躍する企業を幅広く紹介する。

屋外テントコーナー「とよなかマルシェ」では、市内菓子業者などが中心となって店舗を出展。また、出展者が豊中市にちなんだ菓子など新商品を発表し、来場者が審査する「試食コンテスト

マルシェカップ」も開催し、市の新名産づくりにも取り組む。前回のマルシェカップで最優秀賞に選ばれた津の国屋による「マチカネワニ どちら焼き」もマルシェ内で販売される予定で、来場者の注目を集めそう

だ。

月に掲載企業を89社へ拡充した。金属加工業などから、食品メーカーやタミ店など幅広く紹介している。

モノづくり事業所が集積する 持続発展都市

TOYONAKA

大阪・豊中